

令和3年第11回大川市教育委員会（定例会）会議録

令和3年9月29日、大川市役所大会議室において、令和3年第11回教育委員会（定例会）を開催した。出席者及び会議の経過並びに結果は次のとおりである。

1. 開会及び閉会に関する事項

開会 13時00分
閉会 14時40分

2. 出席委員の氏名

教育長 内藤 妙子
委員 谷川 朋昭
委員 一ノ瀬直子
委員 蔵本美保子
委員 今村 秀一

3. 欠席委員

なし

4. 事務局等の出席者

学校教育課長	永島 潤一
学校教育課主任教育指導主事	池上 和久
生涯学習課長	井口 秀成
学校教育課長補佐	山口 馨
学校教育課学務係長	大塚 智美
生涯学習課長補佐	岡 美詠子
生涯学習課社会体育係長	米永 英人
記録者・学校教育課総務係	原島 正敏

5. 傍聴者

なし

6. 付議案件

審議事項

- (1) 議案第28号 任期付市費負担教職員の任用について
- (2) 議案第29号 学校医の解嘱について
- (3) 議案第30号 学校医の委嘱について
- (4) 議案第31号 大川市社会教育委員の委嘱について
- (5) 議案第32号 令和3年度大川市教育委員会感謝状贈呈候補者（追加）について
- (6) 議案第33号 臨時代理の承認について（令和3年度一般会計補正予算（教育費）について

報告事項

- (1) 会計年度任用職員等の任用について
- (2) 令和3年度全国学力・学習状況調査、福岡県学力調査の結果について
- (3) 大川市図書館空調設備改修工事に伴う臨時休館について

7. 教育長の挨拶の要旨

(1) 主な行事について

8月29日に青少年育成市民大会を開催した。その際に、東京の選手村にいるペルーのパラリンピアンと中学生4名でオンライントークセッションを行った。ロドリゴ選手の「水泳の競技を通して自分が自由になれるからとても好きだ」という言葉が印象的だった。また、弁論大会も行い、ジュニアリーダーが司会進行を務めた。中学生にとってもジュニアリーダーにとってもいい経験になったのではないだろうか。

9月10日に大川市小中学生英語スピーチコンテストをオンラインで実施した。とても堂々とした発表で素晴らしかった。

(2) 新型コロナウイルス感染症について

本市小中学生の感染状況としては、8月が小学生7名、中学生5名の12名、9月が小学生8名、中学生4名の12名、合計24名の感染者が確認された。いずれも軽症で、感染経路は家族感染だと思われる。学校内でのクラスター発生はなかった。10月からは中学校の部活動、施設の貸出を通常通りとする予定である。

(3) 9月議会について

一般質問において、教育委員会に関しては4つ質問があった。1つ目は、スクールカウンセラーについて、2つ目は、文化行政の推進、特に清力美術館の企画展について、3つ目が、文化財保護条例について、4つ目が学校教育についてということで、教育長になって1年半が経過し、施策の進捗状況と成果についての質問であった。

(4) 全国学力・学習状況調査、福岡県学力調査の結果について

議案としても取り上げるが、中学3年生の結果については教育委員会として危機感を覚えている。子どもたちの進路保障のためにもしっかりと対策を行っていく必要がある。

(5) 大川市教育支援委員会について

来年度の特別支援学校・特別支援学級についての協議を行った際に専門家の方から、褒めるといことがとても大事で、「短く・具体的に・肯定的に・何度も・穏やかに話しかける」必要があるというアドバイスをいただいた。教育委員会においてもこういったアドバイスを参考にしていきたい。

8. 議事の概要

審議事項	(1) 議案第28号 任期付市費負担教職員の任用について
質問・意見等なし	
《採決》 全員挙手により原案のとおり承認	
審議事項	(2) 議案第29号 学校医の解嘱について
質問・意見等なし	
《採決》 全員挙手により原案のとおり承認	
審議事項	(3) 議案第30号 学校医の委嘱について

質問・意見等なし	
《採決》 全員挙手により原案のとおり承認	
審議事項	(4) 議案第31号 大川市社会教育委員の委嘱について
質問・意見等なし	
《採決》 全員挙手により原案のとおり承認	
審議事項	(5) 議案第32号 令和3年度大川市教育委員会感謝状贈呈候補者（追加）について
質問・意見等なし	
《採決》 全員挙手により原案のとおり承認	
審議事項	(6) 議案第33号 臨時代理の承認について (令和3年度一般会計補正予算（教育費）について
委員	ふるさと基金というのはふるさと納税のことか。
事務局	その通りです。
《採決》 全員挙手により原案のとおり承認	
報告事項	(1) 会計年度任用職員等の任用について
委員	雇い入れの際に、研修などは行っているのか。
事務局	特に行っておらず、OJTのみである。
教育長	障がい児等の学級指導支援者などは子どもたちと直接接する機会が多いので、研修を行うことで、子どもたちの困り感をなくしていきたい。
委員	介護休暇の期間は規程があるのか。
事務局	2か月を3回までの最大6か月である。状態が良くなるということは基本的にないので、休暇の間で施設など何等かの手立てを採る必要がある。
報告事項	(2) 令和3年度全国学力・学習状況調査、福岡県学力調査の結果について
委員	課題に対する取組を学校に示していくということだが、その取組が実際に実行されたかなどはどのように検証を行う予定か。
事務局	まず、各学校で分析や研修会などを行い、その結果を教育委員会に報告するよ

	<p>うに指示している。分析などが不十分な学校については、直接学校に出向き、改善を促す予定である。また、学校訪問の際に実際に授業の様子を確認し、アドバイス等を行っていく。</p>
委員	<p>取組の実行期間はどの程度で考えているのか。</p>
事務局	<p>実際にこの調査が行われたのが5、6月で、各学校はその時点で自校採点を行い、独自で改善プランを実施している。また、今回全体の結果が出てきたので、この結果を踏まえ、更に課題を明確にして、12月まではこの課題に対して改善プランを実行していく。そして、小学校では12月に市の標準学力調査を、中学校では11月に実力テストを実施し、1月にその結果が出るので、そこで今までの取組の成果や不十分な点を確認し、再度プランを練り直して、そのプランを3月まで実施する。1学期、2学期、3学期と短いスパンで目標を決めて取り組んでいく。</p>
教育長	<p>今までは結果が出てから校長会等で大川市全体の分析を伝えていたが、今回はそれに加えて、まずは各学校で分析をし、対応策を出すように指示した。その対応策については事務局で確認を行い、指導主事からアドバイスを行っていく。</p>
委員	<p>学習状況調査の「自分にはよいところがある」、「国語の授業はよくわかる」などの設問について、小学生に比べて中学生の肯定的な回答の割合が極端に下がっている。要因はどういったことが考えられるのか。</p>
事務局	<p>これまでの経験としての話になるが、成績のいい学校は自己肯定感なども高い。成績の良くない学校は、一見すると大人しく授業を聞いて、集中しているようだが、実際は授業の内容を理解できていない。また、教師はそのことに気づいておらず、自己満足の形で授業を進めてしまい、期末テストなどでようやく生徒が理解できていないことに気づく。小テストなどをして狭い範囲で理解度を確認しながら進める必要があると感じる。</p>
委員	<p>教師は、同じ学年であれば毎年同じ授業をすれば良いように思っているかもしれないが、生徒の理解度や能力などは違うので、同じ中学3年生であってもその年々で授業の進め方は変える必要がある。生徒の理解度を細かく確認をして、わからないまま授業が進んでいくということをなくすことが大事ではないだろうか。この点に関しては、若い教師の方が臨機応変に対応でき、ベテランの教師の方が今までの経験がある分、柔軟な対応ができていないのではないだろうか。教師が子どもに合わせて対応をしていく必要があると感じる。</p>
教育長	<p>おっしゃる通りで、今日の前にいる子どもが何に困っているのか、どこで躓いているのかをきちんと知って、それに合った支援をすることが大事である。スモールステップを大事にして、わからないまま進んでいくということをなくしていきたい。</p>
委員	<p>中間テスト・期末テストのように範囲が広すぎると、どこから勉強していいかわからず、自分のわからないところさえわからなくなってくる。單元ごとにテス</p>

<p>委員</p> <p>教育長</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>トをして、本人にとっても教師にとっても、どこの理解度が不足しているかがわかるようにしていくと、今よりもスムーズに理解が進むようになるのではないだろうか。</p> <p>学生時代に学ぶことが楽しいと感じるようになってほしい。小学校も中学校も何かを決めるのは大人で、子どもたちが考えたり決めたりすることに参画できる場が少ない。子ども主体の教育と言われているが、どこにも子どもの意見がないことに不自然さを感じる。</p> <p>対話の取組をもっと積極的に取り入れてほしい。小学生のときから自分の思っていることを自由に言える場を作ることで、自分の考えを持ち、それを話すことができるようになるのではないだろうか。</p> <p>学校で学ぶことは楽しいという気持ちを授業で創り出していきたい。</p> <p>中学生の調査結果が悪いという話だが、一方で小学生はとてもいい。これには何か理由があるのだろうか。</p> <p>小学校は学級担任がそのクラスの授業をすべて受け持っていることが要因のひとつではないだろうか。一人ひとりをよく見ることができていて、わからないところがある児童には、個別で手厚くフォローができています。やはり、一人ひとりの子どもをよく見て、すぐにカバーしていくことが大事で、それができていないとわからないまま授業が進んでいき、それが徐々に成績に現れてくるのではないだろうか。</p>
<p>報告事項</p>	<p>(3) 大川市立図書館空調設備改修工事に伴う臨時休館について</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>閉館期間が長いので、移動図書館などを行ってはどうか。</p> <p>通常5月に行っている蔵書点検をこの期間に行うことにしている。また、移動図書館については予定していないが、児童書はモッカランドにも蔵書があり、読み聞かせについてはモッカランドで行うこととしているため、子どもに対する対応は問題なく行える予定である。</p>